

審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 選手の健康と安全に配慮して、テクニカルタイムアウトは、給水のためのタイムアウトとして適用し、選手に給水をさせなければならない。
2. タイムアウトの要求はハンドシグナルとともに言葉を用いて明確に示す。
3. 選手交代は、交代選手がコートに入る準備をしてサブスティチューションゾーンに入ることにより要求したことになる。また、複数の交代を同時に要求する場合は、すべての交代選手が同時にサブスティチューションゾーンに入らなければならない。
4. 試合中、ボールを使用しての練習が認められるのは、セット間においてエンド・ライン後方のフリーゾーンのみとする。
5. 監督は、試合を妨害しない限り、フリーゾーン内ならばアタックラインの延長線からウォーム・アップ・エリアまでの範囲内において、一時的にベンチを離れてコート上の選手に指示を与えても良い。ただし、ラリー中はベンチに座らなければならない。
6. 本大会は、ワン・ボール・システムで行う。したがって、速やかにサーバーへボールを送ること。
7. ワイピングについて
 - (1) 試合中は、コート内の選手が自分で用意したタオルで速やかに拭く。
 - (2) 状況により、審判員の指示でラリー終了後、交代競技者(3名以内)が速やかにコートに入って拭くことを認める。
 - (3) 公式練習終了後、タイムアウト及び、セット間には、選手またはチームスタッフがモップを使用してコート内とサービス・ゾーンのワイピングを行う。
8. ベンチ・スタッフの服装について
 - (1) ベンチ・スタッフの服装は、ジャケット着用か競技者と同じウェアを着用する。また、役員全員が統一されたウェアを着用することも認められる。
 - (2) 試合中、左胸部に規定の監督、コーチ、マネージャー章をそれぞれ着けなければならない。
9. ラインジャッジと点示について
 - (1) ラインジャッジ(4名)と点示(2名)は各チームで行う。
 - (2) 第1試合目は、該当コートの第3試合目のチームから3名ずつ行う。
(1チームのみの場合は、該当チームのみの6名で行う。)
 - (3) 第2試合目以降については、その前の試合の負けチームで行う。
 - (4) 男子の第6試合については、第4試合の負けチームで行う。
 - (5) 女子の第7試合については、第5試合の負けチームで行う。